

第6次瀬戸市総合計画 住みたいまち 誇れるまち 新しいせとの実現に向けて

平成29年度から第6次瀬戸市総合計画がスタートします。第6次瀬戸市総合計画では、市民にとって暮らしやすい、企業にとって活動したいと思われるまちへと、瀬戸市が未来に向けて新しく変わっていくことを目指します。将来像「住みたいまち 誇れるまち 新しいせと」を掲げる基本構想と、その実現に向けて展開する重点事業をご紹介します。

第6次瀬戸市総合計画は、基本構想・基本計画・中期事業計画からなり、基本構想には、10年先のあるべき姿として瀬戸市の「将来像」と「3つの都市像」を掲げています。



将来像 住みたいまち 誇れるまち 新しいせと

3つの都市像 活力ある地域経済と豊かな暮らしを実感できるまち
安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまち
地域に住まう市民が自立し支え合い、笑顔あふれるまち

第6次瀬戸市総合計画について、くわしくは市ホームページ「第6次瀬戸市総合計画」からご覧ください。

平成29年度 中期事業計画の重点事業

中期事業計画は、総合計画に掲げた施策を実施するための具体的な事業計画です。

将来像「住みたいまち 誇れるまち 新しいせと」の実現に向けて、平成29年度から実施していく重点事業を平成29年度 中期事業計画に取りまとめています。

1 次世代の成長分野に対する積極的な支援と既存の産業集積に対する多面的な施策展開

主な実施内容 ● 市内への新たな企業誘致 ● 瀬戸サイトを活用した新規ビジネスモデル展開
● 産業支援センターの機能拡充
● 金融機関・事業者との連携によるビジネスマッチング



2 小中一貫校設置に向けた学校施設整備と子どもが健やかに育つ学習環境の整備

主な実施内容 ● 瀬戸市立小中一貫校の設計
● サポーター配置などの学習環境の整備
● 通学路や歩道の安全確保の推進



3 子育て総合支援センターの創設による切れ目のない子育て支援、妊娠・出産支援、障害児支援の展開

主な実施内容 ● 子育て支援のためのワンストップサービスの実現
● 保育所の受け入れ拡大による保育サービスの充実
● 不育症治療費助成など妊娠・出産支援の充実

4 地域資源を活かした“せとまちブランディング”の加速と観光産業振興

主な実施内容 ● 中心市街地・観光・景観プロモーションの展開
● 旧山繁商店活用など歴史と文化を活かした観光振興
● 市内環境美化の強化



旧山繁商店

5 若い作家やアーティスト、次世代クリエイターなどツクリテの起業機会の創出と定住促進

主な実施内容 ● ツクリテ支援拠点の整備 ● 空家などを活用した起業家支援と定住推進

6 市民活動・地域活動との連携による超高齢社会への対応と健康増進の展開

主な実施内容 ● 地域包括ケアシステムの展開 ● 認知症対策 ● 減塩個別指導などの生活習慣病対策

7 市民生活の利便性向上や企業活動の活性化につながる都市基盤や交通基盤の整備

主な実施内容 ● 鉄道駅を中心とする都市基盤整備 ● 中水野駅周辺まちづくり



8 市民の安全・安心の確保と市民力・地域力の向上

主な実施内容 ● 防犯灯設置費補助金の拡大など地域防災力・防犯力強化に向けた各種事業の実施
● 下品野地域交流センター整備

コラム 第6次総合計画と市民憲章

昭和4年の市制施行以来、瀬戸市は、市民の皆さんとともにまちづくりを進めてきました。

市制50周年に際し「心ゆたかな住みよいまちづくり」を目指して市民憲章が掲げられましたが、このたび策定する第6次瀬戸市総合計画の計画期間が満了する頃、瀬戸市は間もなく市制100周年を迎えます。

市民憲章とともに、次の新たな100年を歩むことができるよう、「住みたいまち 誇れるまち 新しいせと」の実現を目指して取り組みを進めていきます。



わたしたちは、「やきものまち」として発展してきた輝かしい歴史と、限りない未来を持つ瀬戸市民です。

わたしたちは、いっそう心ゆたかな住みよいまちづくりをめざし、ここに市民憲章を定めます。

わたしたち瀬戸市民は

- 1 自然を大切に、産業をのびせし、豊かなまちをつくりましょう。
- 1 きまりを守り、心のかようまちをつくりましょう。
- 1 元気に働き、明るく幸せなまちをつくりましょう。
- 1 若い力を育て、希望とやすらぎのあるまちをつくりましょう。
- 1 スポーツに親しみ、教養を高め、すぐれた文化のまちをつくりましょう。

